



# 裁判所インターンシップ (家庭裁判所調査官)

東京家庭裁判所では、令和元年8月8日及び同月9日に裁判所インターンシップ(家庭裁判所調査官)を実施し、計182人の方に参加していただきました。たくさんのご参加ありがとうございました。

～インターンシップの内容と参加者の声をご紹介します。～

## 家裁調査官に関する概要説明

インターンシップの目的を確認した上で、家庭裁判所における家裁調査官の役割及び主な業務内容を説明しました。



- ・基本的なことを冒頭で知った上で、その後のプログラムに臨むことができた。
- ・家裁調査官の概要を分かりやすく教えてもらった。

## 少年事件調査前の検討

模擬事例を用いて、家裁調査官が面接等始める前に行う準備作業を体験してもらいました。



- ・同じグループの人が自分とは異なる視点から事例を理解していることが分かり、面白かった。
- ・仕事内容について理解しているつもりだったが、実際に体験してみると初めて気付く難しさもあり、大変勉強になった。

## 少年事件 調査面接体験

調査の中心となる面接を体験してもらうため、グループで少年役と家裁調査官役になってロールプレイを行っていただきました。

- ・家裁調査官になれたように感じた。
- ・家裁調査官の感じ方と少年の感じ方の特徴を学ぶことができた。
- ・ロールプレイにより、実務に近い体験ができた。
- ・質問する際の言葉の選び方で、少年の受け取り方や回答までも変わってくると気づき、驚いた。



観察者

少年役

家裁調査官役

## 少年事件 処遇意見の検討

家裁調査官が調査で把握した情報を踏まえて、少年にどのような処遇をすれば再非行を防いで立ち直らせることができるかをグループで検討してもらいました。



- ・与えられた情報から自分なりに判断する難しさを感じた。
- ・グループ内で意見が分かれ、有意義な議論ができた。
- ・これまで議論してきたことから、最終的な処遇を導き出すやいがいとフレッシュャーを感じた。



## 家事事件 調査・検討

離婚をめぐる両親の紛争と子どもの様子を描いたDVDを視聴し、子どもの状況や心情を把握するための調査方法について、検討してもらいました。



- ・DVDがとてもリアルで、家事事件への関心が高まった。
- ・家事事件ではどのような調査をするのか知らなかったなので、とても勉強になった。
- ・家事事件の調査で必要な知見や技法が分かり、今後の大学生活で勉強したいと思った。

## 座談会

最後に、家裁調査官が一人ずつ各グループに入って参加者からの質問・疑問に答えました。



- ・不安だったことを質問して解消できた。
- ・職場の雰囲気、休暇のことなど、インターネットには載っていない話を聞くことができた。

## 職場見学

少年審判廷、児童室及び家裁調査官室を見学してもらいました。

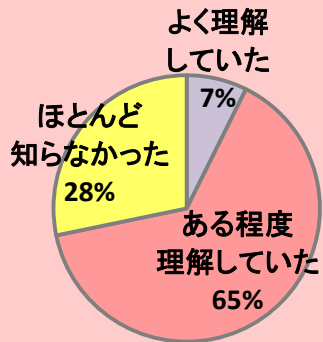
ほかにも、参加した皆さんからたくさんのご好評の声をいただきました！

- ・家裁調査官の仕事内容や魅力がとても伝わった。
  - ・家裁調査官になりたいという気持ちが強くなった。
  - ・緊張していたが、実際に働いている方のお話を聞いたり、体験をしたいして、職業の理解を深めることができた。
  - ・体験型のプログラムだったので、楽しく家裁調査官の仕事を知ることができた。
- など

## アンケート結果

### 家裁調査官の仕事についての理解度の変化(2日間合計)

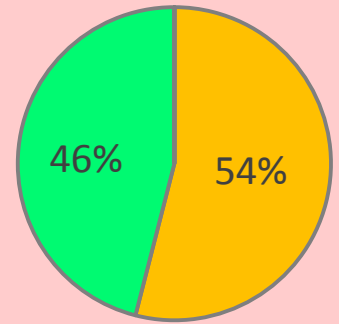
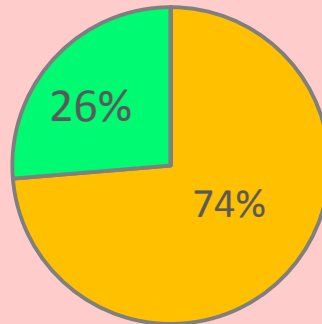
#### 参加前



#### 参加後

ある程度理解していた人

ほとんど知らなかった人



● とても深まった

● ある程度深まった

● あまり深まらなかった

● 深まらなかった

多くの方にご参加いただき、大変好評だったため、  
令和元年12月5日(木)にインターンシップを追加実施します。  
詳細については、東京家庭裁判所のホームページをご確認ください。  
みなさんのご参加をお待ちしております！

#### 【問い合わせ先】

東京家庭裁判所事務局人事課任用係

TEL:03-3502-7108(ダイヤルイン 平日8:30~17:00)